

豊かな森林を未来にのこそう

もりのかぜ だ・よ・り

No.46 秋号

認定特定非営利活動法人 森林の風
会長瀧口邦夫/令和5年11月発行



9月末に訪れた「山造り舎」の管理地です。開けた土地に植えられた広葉樹はこんなきれいな樹形になります(樹種はモミジです)。

第46号 ラインナップ



- ・2023年秋号 ご挨拶 ②
- ・Topic「植栽パックby森林の風」 ②
- ・第1回レベルアップ研修「POLOの森」報告 ③
- ・第2回レベルアップ研修「山造り舎施業地」報告 ④
- ・森林環境教育実施について報告 ⑤
- ・GOGO植樹(御在所岳山頂エリア植生回復活動)について報告 ⑥
- ・「2024まちのきこり人育成講座」のご案内 ⑦
- ・認定NPO法人森林の風からのお知らせ ⑧
- ・森林の風 現在の状況 ⑧

森林施業 認定NPO法人



連絡先／〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088
菰野事業所／〒510-1251三重県三重郡菰野町千草7045-82

<http://www.morinokaze.info> *詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。

2023年 秋号ご挨拶

「活動に気になる項目が二つ」

認定NPO法人 森林の風 会長 瀧口 邦夫



最近 気になる項目が二つ出来た。今の活動をいつまで続けるのか?と聞かれることが多くなった。80歳を超えるまでにはチェーンソー、草刈り機は卒業したいと考えている。これは自分の希望的な頑張りではなく周囲の気遣いを優先したいと思う。安全な森林作業を目指して、設立した「森林の風」も来年20周年を迎えることになった。後方支援として活動することはまだたくさんある。年齢に合わせて活動内容を考えていこうと思う。活動企画、運営、書類作成、経理、会計、各種申請など会員の皆さんのが自主的な分担協力があってこそ成り立っている。ご協力に感謝します。

また、電子伝票関連でのIT化もNPO運営の変化だといえる。

「まちのきこり人育成講座」も会員の皆さんのおかげで19回目を終了し、220名を超える「まちのきこり人」が誕生した。30年ほど前に実践でチェーンソー講習をする森林塾が長野県で立ち上がり多くの林業家を育てた。今、伐採技術として立木を切らないチェーンソー検定が始まろうとしている。多くの人たちに森に入り森林の現実を肌で感じ、未来の森を育成する人財を増やしたいと考える。50年先100年先200年先の森林を考え、

昔からの循環型の林業を取り戻したい。森林環境保全は待ったなしのところに来ている。もう一度未来の森林を考えてみよう。最後に、最近ではIT化の波で多くのコミュニケーションの場が無くなっている事を痛感している。この1年は、多くの人々や子供たちを森林の風のフィールドに案内し、そこで感じ、考えて森林との付き合い方を伝えていきたいと思う。



この写真は、ある日の集合写真です。いつもこのくらいのメンバーで森林保全活動を行っています。決して若くはないですが、とてもパワフルな仲間です。

◆Topic「植栽パック」by 森林の風

我々森林の風では、年間に約500本程度の植林(落葉広葉樹が主体)を行っています。そんな中で場所によっては、表土が流出してしまい岩盤等が露出しているところもあります。以前は、腐葉土と現況土を混合して植栽を行っていたのですが、なかなか活着率も悪く成長もしない状況でした。

そんな折、以前使用していた竹ポットをそのまま埋めた場所では、成長はあまり芳しくないの

ですがほとんどの木が生き残っている状況が確認されました。そこで、考案されたのが麻袋を利用した植栽パックです。麻袋の中に腐葉土、鹿沼土、肥料を混合し用土を入れ、そこに苗を植えるものです。今年初めての挑戦ですので成果は分りませんが、期待度は高まっています。来年の夏ごろにはその成果を確認できますのでまたご報告します。



◆第1回レベルアップ研修「Poloの森」《報告》

「POLO BCS」の森林部であるPOLOの森は、世界最古と言われる吉野林業地の東吉野村を中心にして“森林の持続可能な管理”を目指し、2008年にグループ会社と関係者が明治初期から吉野林業地に保有する杉と桧の人工林の一部、およそ60haの森林(もり)を引き継いだことが始まりで、今では150ha超の自社林を中心に周辺山林を整備していることです。

今回は、その中で工房のそばにある78年生のスギ・ヒノキ林と、下層植生調査を実施している森林そして、勿論、工房(POLOの森 おおかみ舎)



POLOの森おおかみ舎



おおかみ舎の作業所

も見学させていただきました。

まず、工房ですが写真のとおり雰囲気のいい外観となっています。基礎工事以外はすべて自前で施工されたとのことで、薪を積んで壁としているあたりは、なかなかのセンスがうかがえます。

工房には、製材機をはじめ様々な機械・工具が用意されていてまさに工房。主伐、間伐を通じて全木を利用するところで、市場等へ出せないものは、この工房で加工(薪等)しているとのことでした。

さて、78年生のスギ・ヒノキ林ですが、きれいに手入れがされていて、下層植生も育っていて、また、全木搬出ですので余分なものがなく、とてもきれいな森林でした。森林の風では、間伐材等の搬出は、物理的に無理があるので行っていませんが、林床をきれいにするということは、見習わなければいけないことだと感じました。

次に伺った、森林ではネットを張って鹿の食害調査をしていて、ネットの内と外では明確に林床の違いがありました。鹿の食害問題は林業界で喫緊の重大な課題だと思いました。



間伐材・枝などが無いきれいな林床



防鹿ネットの効果実験地



第2回 レベルアップ研修 山造り舎施業地 報告

9月30日、10月1日と2日間の行程で、長野県伊那市で活動されている山造り舎(代表 川島潤一氏)の管理地の見学をさせていただきました。

1日目は、信州伊那谷 曹洞宗 護法山常圓寺の所有林(ヒノキ林)を見学させていただきました。この森林は、元信州大学の教授、故島崎先生がKOA森林塾時代に整備を始めた森であり、その後依頼を受け、調査から施業まで実施しているものです。2000年から2回の間伐、1回の枝打ち(9mまで)をされ、毎年の整備として境界の刈払いと必要に応じて利用間伐等、このヒノキ林の育成に必要と考えられる事を主に行っているそうです。

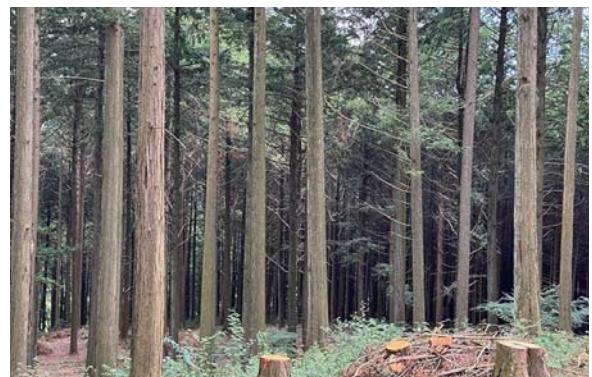
この森林は鹿の食害がないため、下層植生が十分に育っていて、中間層を落葉広葉樹で形成しています。所々に熊の皮剥ぎがあり木がダメになるため、皮剥ぎにあった木は速やかに利用目的をもって伐採するそうです。寺社利用木のため柱材として利用するにはまだ少し年数が足りないとのことでした。

その後、もう一つの管理地であるアカマツ、カラマツ林に案内してもらいました。ここでは、少しずつ利用伐採をして、その後の植栽は、広葉樹を考えているとのことでした。

たまたま、隣に手入れのしていないアカマツ林があり、その違いが写真のとおりはっきりとわかるほどでした。



下層植物が育ったヒノキ林



整備されたカラマツ林
(奥が未整備のアカマツ林)



表紙のモミジ(実は2本ありました)

2日目は、天竜川を越えて、東側の長谷地区の森林(アカマツ林、元萱場)を見学させていただきました。この森林もKOA森林塾との関係で、同じく調査から施業まで実施されているそうです。

2008年から、森林部分は1回の間伐と萱場の萱を刈払い、そして落葉広葉樹を植林されたそうです。毎年の整備として、年2回の刈払いと混みあった箇所の間伐と間伐材を利用しての薪作りをされています。



紅葉した現時点のモミジ



森林環境教育実施について 報告

■ JTBいきいきプロジェクト

10月22日(日)、多度山にあるNTNこもれびの森にて「JTBいきいきプロジェクト」の案内・指導を担当しました。

3班編成で、ヒノキのノコギリ体験、バードコール作り、木登り体験の3種目を実施。子供さんが、とにかく元気で、ノコギリを5回もやる子や、木登りも何回も挑戦する子がいました。



木登り体験

一緒に参加した御両親も 子供にかえってそれぞれの体験を楽しんでいただきました。とにかく、お子さんたちの笑顔が印象に残ったイベントとなりました。ちなみに、ノコギリで切ったヒノキは、皮をむいて香りを楽しむグッズとしてお持ち帰りいただきました。参加人数は、JTB社員及び一般参加者35名(大人22名、子ども13名)でした。



ノコギリ体験

■ 中部電力:記念日植樹券事業・菰野富士散策ツアー

11月3日(金)、菰野町のダイダンの森にて「中部電力:記念日植樹券事業・菰野富士散策ツアー」の案内・指導を担当しました。

参加者は、午前25名、午後26名となり、それぞれ6班に分かれて班毎に森林の風メンバー2名がついて散策及び工作のサポートを行ないました。散策は、森林内で森林浴体験のほか、ヒノキ林や尾根沿いを周回し、人工林における森林施業の事、

雑木林でのいろいろな樹木の話などをさせていただきました。工作は、こども向けの木のプレート作りと、バードコール作りを、大人対象としては、「知恵の棒(簡単な知恵の輪)」と「木にさわろう」を行い、大人も子供も楽しんでいただけたと感じました。木のプレート作りでは、子供の自由な発想がとても印象的でした。



工作(木のプレート作り)



森林浴体験

※その他、5月30日(火)四日市市立常磐西小学校6年生、6月3日(土)龜山加太みどりの少年団に森林環境教育を実施しました。

◆GOGO植樹(御在所岳山頂エリア植生回復活動)について《報告》

三重県北部に位置する標高1200mの名峰「御在所岳」は、モミジ、ミズナラ、シロモジ、ヤシオツツジ、ドウダンツツジなどが新緑や紅葉、美しい花の開花等、四季を通じて親しみ楽しめています。しかし近年では、日本鹿が増加し、その食害である樹皮剥ぎで樹木が枯死する大きな被害が出ています。

森林の風では2010年より、国定公園内である現地において、三重県の許可を得て採取した種子や実生を育て頂上付近の環境回復を目的とした植樹活動を行っています。

今年も約220本の植樹を行いました。



●7/22(土)

菰野町みどりの少年団による植樹イベント

菰野町みどりの少年団の活動として、ユースホステル跡にミズナラ50株の植樹を実施しました。

この活動の参加者は、みどりの少年団：35名 保護者、菰野町職員含め約30名でした。

●9/16(土)

御在所ロープウェイ主催による一般登山客による植樹イベント

御在所ロープウェイ主催による植樹イベントのお手伝いをさせていただきました。ミズナラ110本とドウダンツツジ10本の植樹を行いました。参加者は、御在所岳頂上にて希望者を募り結果、23組41人(近隣7府県在住)でした。数年後、植樹苗の成長を楽しみに見に来ていただければ幸いです。

●10/15(日)

三十三銀行による植樹イベント

三十三銀行の植樹イベントで社員家族、大人17人 こども14人 計31名でミズナラ50本の植樹を行いました。参加したお子様たちが大人になった時、御在所岳頂上の景色はどうなっているのでしょうか。大きく育ってくれることを願っています。



この活動は企業及び個人の皆様のご寄付によって成り立っています。

苗木の育成・植樹費用として一口3,000円より寄付を募集しております。ご協力よろしくお願いします。また、アプロイドマテリアルジャパン(株)様からの寄付金は、このプロジェクトに使わせていただいております。

◆「2024まちのきこり人育成講座」開催のお知らせ

「2024まちのきこり人育成講座」の開催予定が決まりました。例年通り、4月からの開催となります。
お申込み、お問い合わせお待ちしております。(※導入編は3月実施です。)



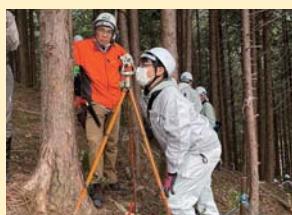
森林休憩



枝打ち



のこぎり間伐



コンパス測量



メンテナンス



受け口練習



チェーンソー間伐



救急救命講習

2024 まちのきこり人育成講座《開催日程》

**導入編3/17(日)「森林の風」フィールドへようこそ
森林への思い！／近隣の里山を歩き、これから森づくりについて考える。**

第1回4/7(日)きこり体験

のこぎりを使って木を伐る。木の伐り方、倒し方、枝打ちなど。

第2回4/14(日)森を測る

森づくりの第1歩。コンパス測量、標準地調査と選木、森林のデータ化。

第3回4/21(日)チェーンソーに触れる

チェーンソーの取扱い、メンテナンス、安全・危険を学び、実際に伐ってみる。

第4回5/12(日)チェーンソーで伐る(日)

水平切り・受け口・追い口を徹底的に練習していただきます。

第5回5/19(日)チェーンソーで伐る(月)

実際の立木を伐倒、玉切り、枝払い、特訓(チェンソーウォークの体得)。

第6回5/26(日)チェーンソーで伐る(火)

伐倒・掛木処理等、牽引具の説明。搬出デモ。

第7回6/9(日)安全・救命講習

森林整備での健康管理、危険な植動物の学習。及び、救急救命等を行います。

----- ※チェーンソー講習終了証を発行します。

※申込詳細につきましては、ホームページからダウンロードできます。(下欄のQRコードから閲覧できます。)
また、お問い合わせは、担当、上林まで。 携帯090-6590-0011 E-Mail uebayasi@dd.ijj4u.or.jp

森林の風ホームページ



イベント参加申込



育成講座パンフレット



認定NPO法人《森林の風》からのお知らせ



◆森林環境教育について

森林の風では、2023年度から森林環境教育プログラム「もりくる」を企画し、森林の魅力に気づき、多様性を自ら見出し、進んで整備に加わり、森林を守る、そんな人、子供たちの育成を進めたいと考えています。

今年度は、試行期間として、手始めに5月5日、「精油と森林散歩」を大人向けに開催しました。

そして、年末、12月23日(土)に「SDGsに具体的なアクションを！親子で学ぶ、すずか森林保全教室」を開催予定としています。参加対象、講座内容は下記となります。また、詳細が決まり次第ホームページにてお知らせします。



SDGsに具体的なアクションを！親子で学ぶ、 すずか森林保全教室

日 時	12月23日(土) 9:00~14:00
対 象 者	児童 4~8名十その家族
講座内容	①森を散歩と森のお話し ②森林と二酸化炭素のお話し ③のこぎり間伐体験他
備 考	※講座内容は変更することがあります。

このプログラムは、皆様の寄付金を活用して実施していく予定です。今後も、少しずつ基礎的な講座を増やしていきます。是非、ご協力よろしくお願いします。

◆企業の森情報

2023年より、活動場所の関係でお休みしていた、本田技研工業株式会社とティ・エス テック株式会社の2社が森林保全活動を再開しました。場所は、三重県民の森に隣接する人工林でそれが隣り合うかたちになります。この秋から、本格的に整備活動が始まります。

森林の風～最新データ～

2023年10月31日現在

◆取組事業総数	31
◆活動フィールド	人工林 6
	里山整備 6
◆フィールド総数	約100ha

2023年度4月から10月の累計

◆活動日数	84日
◆会員延べ参加数	798人
◆延べ受益者数	1,085人

設立来累計

◆植樹数	約12,220本
------	----------

森を守り育てる活動にご協力ください

寄付を
募集!

年会費 (賛助会員)	個人 1口 3,000円 法人 1口10,000円より
特 典	年2回発行の機関紙「もりのかぜだより」や各種案内を送付させて頂きます

加入社名：特定非営利活動法人 森林の風

郵便振込：00830-4-159060

通信欄に、おとこ・おなまえ・ご連絡先電話番号をご記入ください

2022年度寄付金一覧(11月1日現在)

*ご協力ありがとうございました